

# 一般国道57号(中九州横断道路) 大津熊本道路(合志~熊本)に係る新規事業採択時評価

- 九州縦貫自動車道へのアクセス向上により、物流の効率化を図り、地域産業を活性化
- 災害時において、救援・物資輸送時に機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築
- 広域交通アクセスの強化により、主要観光都市間の高速性が向上し、観光振興を支援

## 1. 事業概要

起終点：熊本県合志市上庄～  
熊本県熊本市北区大鳥居町

- 延長等：9.1km  
(第1種第3級、4車線、設計速度80km/h)
- 全体事業費：約530億円
- 計画交通量：約14,700台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約9,800台/日	約2,200台/日	約2,700台/日

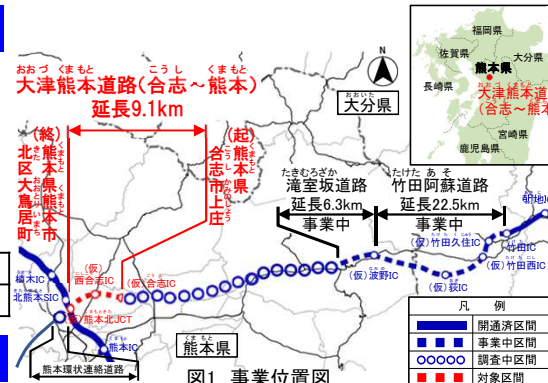


図1 事業位置図

## 2. 課題

### ①交通混雑による物流効率の低下

- 合志・大津地域は、世界的な半導体メーカーや大手自動車メーカーなど、半導体・自動車関連工場が集積する県内第1位の工業地域であり、直近10年で立地企業数が約1.2倍に増加し、新たな工業団地の開発も進んでいる。(図2,3)
- 製造品輸送において、九州縦貫自動車道や熊本港への主要アクセスを担う国道57号は、交通集中により大きく容量超過・速度低下が発生し、速達性が課題。(図4、写真1)

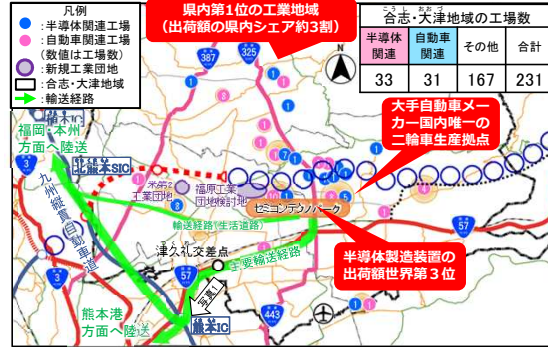


図3 合志・大津地域の立地企業位置

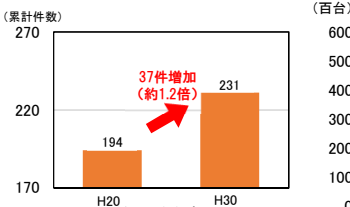


図2 合志・大津地域の立地企業数の推移

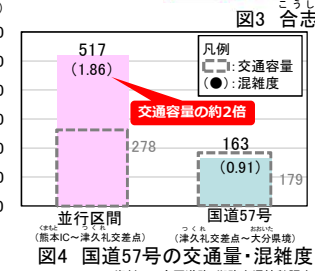


図4 国道57号の交通量・混雑度



写真1 国道57号の渋滞

### ②災害時における道路ネットワークの脆弱性

- 国道57号は、東九州と西九州の広域防災拠点をつなぐ重要な路線であり、『緊急輸送ルート』であるが、災害時には著しい交通集中により、自衛隊の救急活動に支障が生じており、迅速な救援・物資輸送を担う信頼性の高い道路ネットワークの確保が課題。(図5、写真2)



写真2 H28.4熊本地震時渋滞に遭遇する自衛隊



図5 国道57号の被災状況と救急活動

### ③広域観光に必要不可欠な高速ネットワーク

- 国道57号沿線には豊富な自然と観光資源があり、「阿蘇地域」では県内第1位、「菊池地域」では県内第2位の観光客が訪れている。(図6)
- 一方で菊池地域は、観光客数が減少傾向にあり、なかでも主に福岡県からの来訪が多い県外客数において減少が著しく、高速ネットワークと接続した広域交通アクセスの強化が課題。(図7)



図6 沿線地域周辺の観光客数

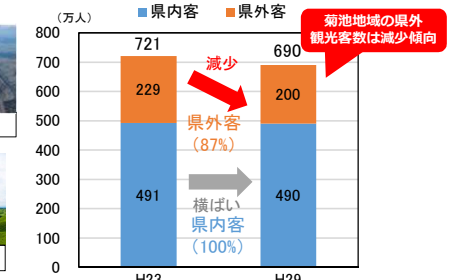


図7 菊池地域の観光客数の推移 (H23比)

## 3. 整備効果

### 効果1 物流効率化による地域産業が活性化【◎】

- 工業団地から九州縦貫自動車道までの所要時間短縮により物流が効率化し、地域産業が活性化
  - 工業団地から九州縦貫自動車道への所要時間  
【現況】26分(北熊本SIC) → 【整備後】17分(9分短縮)(熊本北JCT)
  - 【現況】22分(熊本IC) → 【整備後】17分(5分短縮)(熊本北JCT)

### 効果2 災害時に信頼性の高い高速ネットワークの形成【◎】

- 災害時の緊急輸送ルートとして、救援・物資輸送時に機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築
  - 北熊本駐屯地～道の駅旭志の所要時間 【現況】62分 → 【整備後】47分(15分短縮)

### 効果3 観光の周遊性が向上し、観光振興による地域活性化【◎】

- 九州縦貫自動車道との接続により主要観光都市間の高速性が向上し、観光経済が活性化
  - 高速道路IC～道の駅旭志(菊池市)の所要時間 【現況】24分 → 【整備後】13分(11分短縮)

### ■費用便益分析結果 (貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR <sup>※1</sup>	総費用	総便益
1.4 (0.8)	6.0% (2.6%)	1,271億円 <sup>※2</sup> (405億円 <sup>※2</sup> )	1,780億円 <sup>※2</sup> (309億円 <sup>※2</sup> )

注) 上段の値は大分米良JCT～熊本北JCTを対象とした場合、下段( ) 書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果  
 ※1: EIRR: 経済的内部収益率 ※2: 基準年(円年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

### ■道路ネットワークの防災機能評価結果

改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
	整備前	整備後		通常時	災害時	
28 (2)	0.86 [C] { 0.00 [A] }	0.70 [C] { 0.00 [A] }	▲444.5 (0.0)	0.11 (0.03)	0.25 (0.03)	○

注) 上段の値は大分米良JCT～熊本北JCTを対象とした場合、下段( ) 書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果  
 ( ) 熊本環境連絡道路も含め、有料道路事業の活用などについて、今後検討を行う予定である。

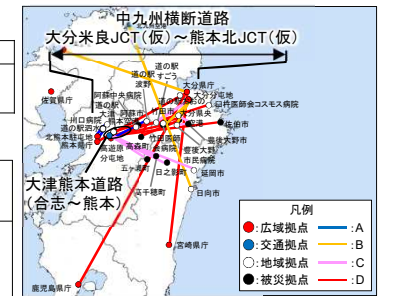
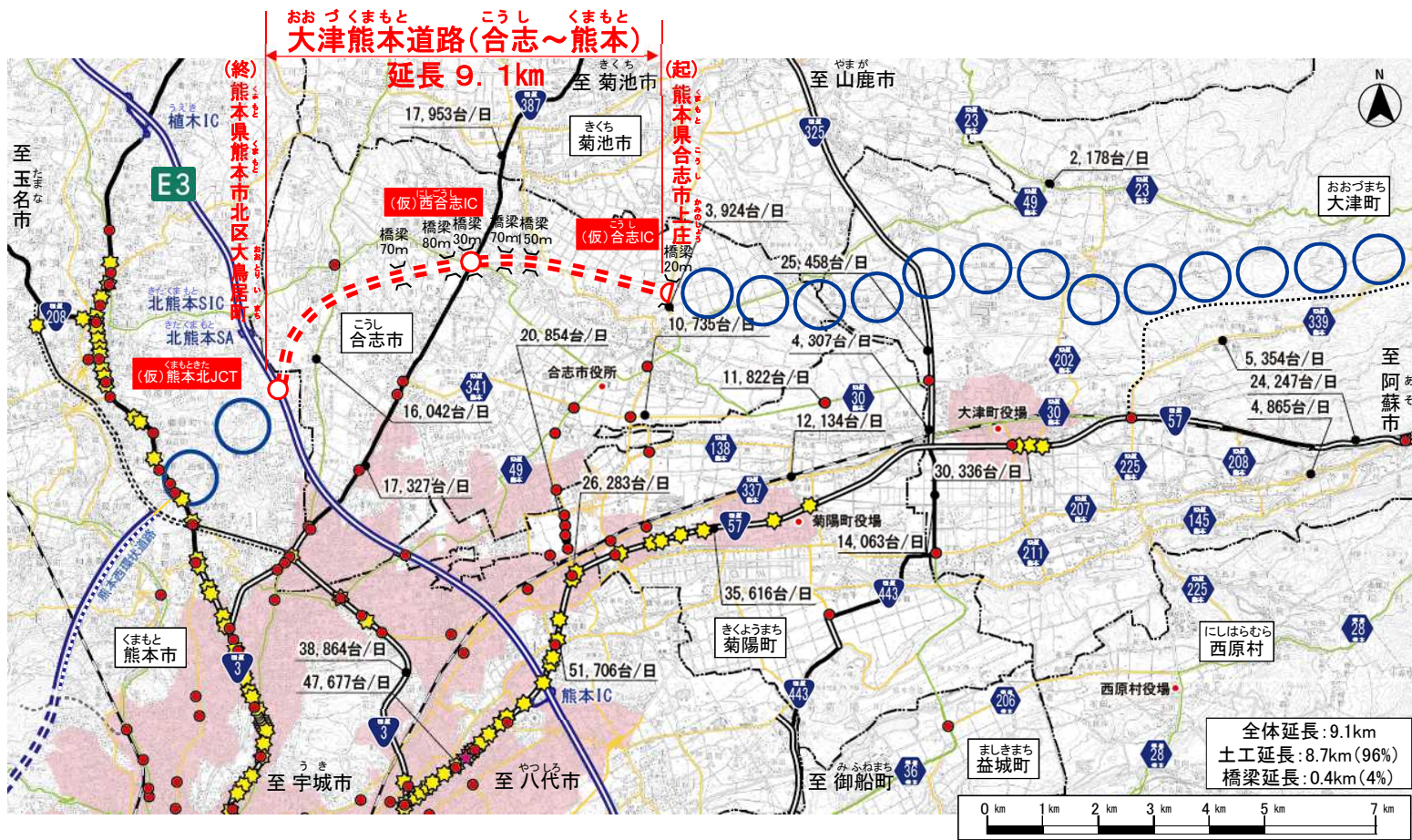


図8 整備後の防災機能ランク

# 一般国道57号(中九州横断道路) 大津熊本道路(合志~熊本)に係る新規事業採択時評価



.....	対象区間
○ ○	調査中区間
.....	事業中
—	鉄道
—	高速道路
—	一般国道
—	主要地方道
—	一般都道府県道
●	役場
●	市街地・集落
—	橋梁構造
●	主要渋滞箇所
★	事故危険区間
交通量(台/日)	交通量 (H27全国道路・街路交通情勢調査)
—	市町村境界線
—	車線数 (2車線/4車線)

